

## 施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード Ⅲ-5-(1)

政策体系	施策名	情報通信基盤の整備促進	所管部局名	商工労働部	長期総合計画(プラン2005)頁	139
	政策名	情報通信基盤の整備とIT化の推進	関係部局名	商工労働部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	情報通信基盤の整備	豊の国ハイパーネットワークの活用

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125		
i	ブロードバンド世帯普及率(%)	①	H16	29.3	70.0	209.9	299.9%							
ii	ケーブルテレビ世帯普及率(%)	①	H16	45.5	65.0	61.3	94.3%							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	電気通信事業者への働きかけ等により、FTTH(Fiber To The Home: 光ファイバーによる超高速ブロードバンドサービス)のサービスエリアやLTEのサービスエリアが拡大したため目標値を達成した。 ※総務省集計のブロードバンド普及状況について、H25年3月現在の公表分からブロードバンドにLTEも含まれている。	達成
iv	概ね達成	ケーブルテレビ事業者と連携しCATV網の整備を進めたことにより、目標値を概ね達成した。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・携帯電話の不感地域65地区(平成26年度末)について、平成27年度には1地区において電気通信格差是正事業により基地局等整備を実施し、不感が解消された。
②	・ブロードバンドサービスやケーブルテレビ放送サービスを提供するため、豊の国ハイパーネットワークを約4,010km(芯線長)貸付け、民間の利活用を促進している。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	電気通信格差是正事業	41,644	D

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」第3回活力部会(H26.12)  
 ・情報通信基盤の整備で、ネットがつながる環境を県内至る所に拡げて欲しい。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者や市町村と連携して通信環境の整備に取り組んだことで、ブロードバンド世帯普及率について目標を達成できた。今後も超高速ブロードバンドサービスエリアの拡大を図る。</li> <li>・市町村と連携して、携帯電話不感地域の解消を図ったことで、地域住民の不安解消につながった。今後も採算面等の条件が厳しい地域の不感解消を図る。</li> <li>・豊の国ハイパーネットワークを民間通信事業者へ開放したことで、携帯電話基地局までの光ファイバー敷設費用が軽減でき、携帯電話不感地域の解消や通信環境の整備ができた。</li> <li>・市町村に対して地域情報番組の交流など、魅力あるコンテンツ作成を働きかけることで、県内の観光情報やイベント情報など相互の情報発信ができた。</li> </ul>